

再 評 価 調 査 書

I 事業概要					
事業名	漁港漁場事業（漁港修築事業）				
地区名	もろさきぎょう 師崎漁港				
事業箇所	あいちけんちたくんみなみちちようもろさきちない 愛知県知多郡南知多町師崎地内				
事業のあらまし	<p>南知多町にある師崎漁港は、知多半島の最南端に位置しており、船びき網漁業を中心に県内最大の陸揚げ金額を誇る流通拠点漁港である。</p> <p>当漁港は南海トラフ地震による甚大な被害が予想されていることから、発災後においても水産物流の早期回復を図るため、防波堤と岸壁の耐震・耐津波対策を実施している。</p> <p>また、既存の岸壁だけでは陸揚げの作業効率が悪く、陸揚げが集中する時間帯には待機船舶が発生している。さらに、対象岸壁の背後には2018年に製氷施設が整備されており、円滑な氷の積み込み環境の整備が求められている。このため、新たな係留施設を整備することで、荷揚げ、氷積み作業の円滑化、効率化を図り、流通機能を強化する。</p>				
事業目標	<p>【達成（主要）目標】</p> <p>(1) 防波堤及び岸壁の耐震・耐津波性能の確保</p> <p>(2) 係留施設の整備による陸揚作業効率の向上</p> <p>【副次目標】</p> <p>—</p>				
計画変更の推移		事前評価時 (2017年度)	再評価時 (2023年度)	変動要因の分析	
	事業期間	2018～2024	2018～2027	関係者との調整	
	事業費（億円）	9.5億円	9.5億円	変更なし	
	経費内訳	工事費	9.5億円	9.5億円	変更なし
		用補費	—	—	—
その他		—	—	—	
事業内容	防波堤(改良)：L=222m 岸壁(改良)：L=180m 浮棧橋(新設)：2基	防波堤(改良)：L=222m 岸壁(改良)：L=180m 浮棧橋(新設)：2基	変更なし		
II 評価					
①事業の必要性の変化	1) 必要性の変化	<p>【事前評価時の状況】</p> <p>(1) 防波堤及び岸壁の耐震性確保</p> <ul style="list-style-type: none"> 師崎地区の-3.0m泊地にある防波堤及び岸壁は、いずれも施工後30年以上が経過し、コンクリートの劣化等、老朽化が進んでおり、また、L1津波（最大クラスの地震に比べて発生頻度が高く、津波高は低いが大きな被害をもたらす津波）を発生させる地震に対して安定性を確保していない。当漁港は周辺地域の流通拠点であり、当地区が被災すると名古屋市をはじめとする県内各地への魚介類の供給が滞ってしまい、市民生活に影響が及ぶこととなる。そのため、被災後速やかに漁業活動を再開できるよう、施設の耐震対策が求められている。 <p>(2) 係留施設の整備による陸揚作業効率の向上</p> <ul style="list-style-type: none"> 当漁港は県内最大の利用漁船数を誇っており、今後も流通拠点漁港として外来船利用の増加が見込まれている。しかしながら、入港時には陸揚げをする漁船が集中し、泊地内への出入りの運航が混雑しているため、陸揚げ作業時間の短縮、効率化による流通機能の強化が求められている。 当漁港では、大潮時の干満差が最大2m程度（平均で1.7m）に達しており、これは全国的に見ても非常に大きい。これにより岸壁と漁船の高低差が大きくなるため、船の乗り降り 			

	<p>や積荷作業等に多大な労力を要する。</p> <p>以上のことから、陸揚げ作業の混雑を解消し、かつ潮位による影響を最小限に抑えることが可能な浮棧橋を整備が求められている。</p> <p>【再評価時の状況】</p> <p>防波堤及び岸壁は、依然としてL1津波を発生させる地震に対して安定性を確保していない。</p> <p>浮棧橋の整備は完了し、陸揚げ作業の混雑を解消でき、かつ潮位による影響を最小限に抑えられている。</p> <p>【変動要因の分析】</p> <p>着手時と同様に事業の必要性は依然として高い状況にある。</p>																																																																																																																																												
判定	<p>B</p> <p>A： 事業着手時に比べ必要性が増大している。 B： 事業着手時に比べ必要性にほとんど変化がない。 C： 事業着手時に比べ必要性が著しく低下している。</p> <p>※事業着手時と比較することが適当ではないと判断される場合は、「事業着手時」を「前回評価時」に置き換えることができる。</p> <p>【理由】</p> <p>地震による被災後の速やかな漁業活動の再開及び陸揚げ作業の効率化のため、事業着手時と同様に事業実施の必要がある。</p>																																																																																																																																												
1) 進捗状況	<p>【事業計画及び実績】</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th colspan="2"></th> <th>2018</th> <th>2019</th> <th>2020</th> <th>2021</th> <th>2022</th> <th>2023</th> <th>2024</th> <th>2025</th> <th>2026</th> <th>2027</th> <th>合計</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td rowspan="4">工種区分</td> <td>調査・設計</td> <td><</td> <td></td> <td>></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>工事</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>・防波堤(改良)</td> <td></td> <td></td> <td><</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td>></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>・岸壁(改良)</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td><</td> <td>></td> <td></td> </tr> <tr> <td rowspan="3">事業費(億円)</td> <td>前回計画</td> <td></td> <td></td> <td>6.6</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td>2.9</td> <td></td> <td></td> <td>9.5</td> </tr> <tr> <td>実績</td> <td></td> <td></td> <td>6.4</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td>6.4</td> </tr> <tr> <td>今回計画</td> <td></td> <td></td> <td>6.4</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td>3.1</td> <td></td> <td></td> <td>9.5</td> </tr> </tbody> </table> <p>【進捗率】</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th rowspan="2"></th> <th colspan="3">これまでの計画に対する達成状況</th> <th colspan="2">全体進捗率</th> </tr> <tr> <th>計画【①】</th> <th>実績【②】</th> <th>達成率(%)【②÷①】</th> <th>計画【③】</th> <th>達成率(%)【②÷③】</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>延長(m)</td> <td>442</td> <td>40</td> <td>9%</td> <td>442</td> <td>9%</td> </tr> <tr> <td>事業費(億円)</td> <td>6.6</td> <td>6.4</td> <td>97%</td> <td>9.5</td> <td>67%</td> </tr> <tr> <td> 工事費</td> <td>6.6</td> <td>6.4</td> <td>97%</td> <td>9.5</td> <td>67%</td> </tr> <tr> <td> 用補費</td> <td>0</td> <td>0</td> <td>—</td> <td>0</td> <td>—</td> </tr> <tr> <td> その他</td> <td>0</td> <td>0</td> <td>—</td> <td>0</td> <td>—</td> </tr> </tbody> </table> <p>【施工済みの内容】</p> <p>浮棧橋：N=2基 防波堤(改良)：消波ブロック製作</p> <p>【事後評価に準ずるフォローアップ】</p> <p>該当なし</p>			2018	2019	2020	2021	2022	2023	2024	2025	2026	2027	合計	工種区分	調査・設計	<		>									工事												・防波堤(改良)			<						>			・岸壁(改良)									<	>		事業費(億円)	前回計画			6.6					2.9			9.5	実績			6.4								6.4	今回計画			6.4					3.1			9.5		これまでの計画に対する達成状況			全体進捗率		計画【①】	実績【②】	達成率(%)【②÷①】	計画【③】	達成率(%)【②÷③】	延長(m)	442	40	9%	442	9%	事業費(億円)	6.6	6.4	97%	9.5	67%	工事費	6.6	6.4	97%	9.5	67%	用補費	0	0	—	0	—	その他	0	0	—	0	—
		2018	2019	2020	2021	2022	2023	2024	2025	2026	2027	合計																																																																																																																																	
工種区分	調査・設計	<		>																																																																																																																																									
	工事																																																																																																																																												
	・防波堤(改良)			<						>																																																																																																																																			
	・岸壁(改良)									<	>																																																																																																																																		
事業費(億円)	前回計画			6.6					2.9			9.5																																																																																																																																	
	実績			6.4								6.4																																																																																																																																	
	今回計画			6.4					3.1			9.5																																																																																																																																	
	これまでの計画に対する達成状況			全体進捗率																																																																																																																																									
	計画【①】	実績【②】	達成率(%)【②÷①】	計画【③】	達成率(%)【②÷③】																																																																																																																																								
延長(m)	442	40	9%	442	9%																																																																																																																																								
事業費(億円)	6.6	6.4	97%	9.5	67%																																																																																																																																								
工事費	6.6	6.4	97%	9.5	67%																																																																																																																																								
用補費	0	0	—	0	—																																																																																																																																								
その他	0	0	—	0	—																																																																																																																																								
2) 未着手又は長期化の理由	<p>漁業活動との調整の結果、防波堤及び護岸の耐震対策について同時施工が困難となったため、事業期間を伸長する必要性が生じた。</p>																																																																																																																																												

②事業の進捗状況及び見込み

	3) 今後の事業進捗の見込み	<p>【阻害要因】 特になし。</p> <p>【今後の見込み】 浮棧橋の整備は完了しており、引き続き漁協との調整を行いながら防波堤、岸壁の整備を円滑に整備を進めていく。</p>																																																		
	判定	<p>A：これまで事業は順調であり、引き続き計画通り確実な完成が見込まれる。</p> <p>B：次のいずれか（該当する項目に「○印」を付ける）</p> <ul style="list-style-type: none"> ・これまで事業は順調である。今後は多少の阻害要因が見込まれるものの、一定の期間等を要すれば、解決できる見通しがあり、ほぼ計画通りの完成が見込まれる。 ○これまで事業が長期化していたが、事業期間を延長したことにより、今後は阻害要因がなく、ほぼ計画通りの完成が見込まれる。 ・これまでの事業長期化により、事業期間を延長した。今後も多少の阻害要因が見込まれるが、一定の期間等を要すれば、解決できる見通しがあり、ほぼ計画通りの完成が見込まれる。 <p>C：阻害要因の解決が困難で、現時点では、事業進捗の目処がたたない。</p> <p>【理由】 漁協との調整の結果、事業期間が長期化したが、事業期間を延長したことにより、2027年度までの整備完了が見込まれる。</p>																																																		
③事業の効果の変化	1) 貨幣価値化可能な効果（費用対効果分析結果）の変化	<p>【貨幣価値化可能な効果（費用対効果）分析の算定基礎となった要因変化の有無】 効果で最新の漁業活動内容を各々考慮</p> <p>【貨幣価値化可能な効果（費用対効果）分析結果】</p> <table border="1" data-bbox="370 1028 1441 1431"> <thead> <tr> <th colspan="2">区分</th> <th>事業評価時 (基準年：2018)</th> <th>再評価時 (基準年：2023)</th> <th>備考</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td rowspan="3">費用 (億円)</td> <td>事業費</td> <td>7.7</td> <td>—</td> <td></td> </tr> <tr> <td>維持管理費</td> <td>0.8</td> <td>—</td> <td></td> </tr> <tr> <td>合計 (C)</td> <td>8.5</td> <td>—</td> <td></td> </tr> <tr> <td rowspan="5">効果 (億円)</td> <td>水産物の生産性向上</td> <td>9.4</td> <td>—</td> <td></td> </tr> <tr> <td>漁業就業環境の向上</td> <td>0.1</td> <td>—</td> <td></td> </tr> <tr> <td>非常時・緊急時の対処</td> <td>5.6</td> <td>—</td> <td></td> </tr> <tr> <td>合計 (B)</td> <td>15.1</td> <td>—</td> <td></td> </tr> <tr> <td>(参考) 算定要因</td> <td>年間の出漁日数</td> <td>150回/年</td> <td>120回/年</td> <td>パッチ網漁業</td> </tr> <tr> <td></td> <td>陸揚げ待ち発生隻数</td> <td>20隻</td> <td>20隻</td> <td></td> </tr> <tr> <td colspan="2">費用対効果分析結果 (B/C)</td> <td>1.8</td> <td>—</td> <td></td> </tr> </tbody> </table> <p>※金額は、社会的割引率（4%）を用いて現在の価値に換算したもの。</p> <p>※再評価における費用対効果分析については、愛知県公共事業評価実施要領細則により、原則として、事前評価時（前回評価時）と比べ、その要因（費用等）が3割を超えて変化している場合、または費用対効果分析結果が1未満になる恐れがある場合に実施するものとされており、今回評価では事業費に大きな変化がないので算定していない。</p> <p>【貨幣価値化可能な効果（費用対効果）分析手法】 水産基盤整備事業費用対効果分析のガイドライン(平成29年4月改訂 水産庁漁港漁場整備部) 【変動要因の分析】 2023年度漁業組合へのアンケート結果の反映によるもの</p>	区分		事業評価時 (基準年：2018)	再評価時 (基準年：2023)	備考	費用 (億円)	事業費	7.7	—		維持管理費	0.8	—		合計 (C)	8.5	—		効果 (億円)	水産物の生産性向上	9.4	—		漁業就業環境の向上	0.1	—		非常時・緊急時の対処	5.6	—		合計 (B)	15.1	—		(参考) 算定要因	年間の出漁日数	150回/年	120回/年	パッチ網漁業		陸揚げ待ち発生隻数	20隻	20隻		費用対効果分析結果 (B/C)		1.8	—	
区分		事業評価時 (基準年：2018)	再評価時 (基準年：2023)	備考																																																
費用 (億円)	事業費	7.7	—																																																	
	維持管理費	0.8	—																																																	
	合計 (C)	8.5	—																																																	
効果 (億円)	水産物の生産性向上	9.4	—																																																	
	漁業就業環境の向上	0.1	—																																																	
	非常時・緊急時の対処	5.6	—																																																	
	合計 (B)	15.1	—																																																	
	(参考) 算定要因	年間の出漁日数	150回/年	120回/年	パッチ網漁業																																															
	陸揚げ待ち発生隻数	20隻	20隻																																																	
費用対効果分析結果 (B/C)		1.8	—																																																	

2) 貨幣価値化困難な効果の変化	<p>【事前評価時の状況】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・防波堤及び岸壁の整備をすることで地震、津波に対して粘り強い構造となり、背後の集落や施設の被害軽減に繋がることが期待される。 ・浮棧橋の新設により労働環境が改善され、高齢の漁業者の減少に歯止めをかけることが期待される。 <p>【再評価時の状況】</p> <p>事前評価時の状況と同様。</p> <p>【変動要因の分析】</p> <p>—</p>	
判定	A	<p>A：事業着手時とほぼ同様の事業効果が発現される見通しがある。</p> <p>B：事業着手時と比べ低下が見られるが、十分な事業効果が確保される見通しがある。</p> <p>C：事業着手時と比べ著しく低下し、現時点では事業効果が確保される見通しが立たない。</p>
【理由】費用対効果分析結果から十分な効果が期待できる。		
III 対応方針（案）		
継続	<p>中止：上記①～③の評価で一つでもC判定があるもの。</p> <p>継続：上記以外のもの。</p>	
IV 事後評価実施の有無と主な評価内容		
<p>■対象（事業完了後5年目） <input type="checkbox"/>対象外</p> <p>【事業完了後5年を越えて実施する理由・対象外の理由】</p> <p>—</p> <p>【主な評価内容】</p> <p>作業時間、陸揚げ待ち時間、係留施設の充足率</p>		
V 事業評価監視委員会の意見		
師崎漁港の対応方針（案）事業継続を了承する。		
VI 対応方針		
事業継続		